

慢性疼痛診療システムの均てん化と  
痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究

研究分担者 松田 陽一 大阪大学大学院医学系研究科 講師

**研究要旨**

本研究の中で、慢性疼痛患者における発達障害の関与に関する研究を行った。当院疼痛医療センターを受診し研究参加の同意が得られた20歳以上の慢性疼痛患者に対して、治療開始前、治療開始後3ヶ月、6ヶ月に発達障害に関する質問紙（自閉症スペクトラム指数、成人期のADHDの自己記入式症状チェックリスト）、及び痛みセンターにおける通常の診療で行っている評価（身体所見、身体機能、痛みの程度、痛みと関連する可能性のある心理的因子を評価する質問票（痛みの破局化思考スコア、不安とうつの調査票）、QOL調査票（EQ-5D））を実施した。実施した質問紙等のデータは今後代表施設に提供・集積し、1）慢性疼痛患者の特徴（一般成人の値と比較）、2）治療前後の比較（対応のあるt検定）、3）治療成績良好群と不変群の比較（ノンパラメトリック検定）、4）発達障害の可能性の有無と治療成績、および関連因子（相関解析、回帰分析）について解析する予定である。

**A. 研究目的**

集学的痛みセンターを受診する慢性疼痛患者における発達障害の実態を明らかにする。

（倫理面への配慮）

大阪大学倫理委員会の承認（19199）を受けて実施した。

**B. 研究方法**

当院疼痛医療センターを受診し研究参加の同意が得られた20歳以上の慢性疼痛患者に対して、治療開始前、治療開始後3ヶ月、6ヶ月に発達障害に関する質問紙（自閉症スペクトラム指数、成人期のADHDの自己記入式症状チェックリスト）、及び痛みセンターにおける通常の診療で行っている評価（身体所見、身体機能、痛みの程度、痛みと関連する可能性のある心理的因子を評価する質問票（痛みの破局化思考スコア、不安とうつの調査票）、QOL調査票（EQ-5D））を実施する。慢性疼痛に対する治療は、各痛みセンターで通常の治療を行う。実施した質問紙等のデータは代表施設に提供・集積し、1）慢性疼痛患者の特徴（一般成人の値と比較）、2）治療前後の比較（対応のあるt検定）、3）治療成績良好群と不変群の比較（ノンパラメトリック検定）、4）発達障害の可能性の有無と治療成績、および関連因子（相関解析、回帰分析）について解析する。

**C. 研究結果**

71名の対象患者から研究参加の同意が得られ、データの取得を行った。

**D. 考察**

今後の取得データを解析して結果について考察していく予定である。

**E. 結論**

次年度も引き続き、対象患者に対して質問紙等のデータ取得を進める予定である。

**F. 健康危険情報**

総括研究報告書にまとめて記載

**G. 研究発表**

1.論文発表

① Mibu A, Nishigami T, Uematsu H, Tanaka K, Shibata M, Matsuda Y, Fujino Y. Validation of the Japanese version of the Bath CRPS Body Perception Disturbance

Scale for CRPS. J Anesth. 2021; 35(1): 20-26.

## 2.学会発表

① 松田陽一. 慢性腰痛のメカニズムと神経ブロックの役割を再考する. 第50回日本慢性疼痛学会 2021.

② 姉川美保, 植松弘進, 弓場智雄, 博多紗綾, 高橋亜矢子, 松田陽一, 藤野裕士. 変形性膝関節症における伏在神経パルス高周波法の鎮痛メカニズムに関する検討 予備調査. 第49回日本慢性疼痛学会 2020.

③ 井内貴子, 姉川美穂, 博多紗綾, 植松弘進, 高橋亜矢子, 藤野裕士, 松田陽一. 神経圧迫のない胸椎椎間板ヘルニアによる慢性背部痛に対して経椎間孔硬膜外ブロックが著効した一例. 日本ペインクリニック学会第54回大会 2020.

④ 高橋亜矢子, 松岡由里子, 姉川美保, 井内貴子, 博多紗綾, 長田多賀子, 溝淵敦子, 植松弘進, 藤野裕士, 松田陽一. 脊髄海綿状血管腫による神経障害性疼痛を呈した小児患者に対しクロナゼパムが有効であった一例. 日本ペインクリニック学会第54回大会 2020.

⑤ 松岡由里子, 植松弘進, 溝淵敦子, 高橋亜矢子, 姉川美保, 博多紗綾, 長田多賀子, 井内貴子, 藤野裕士, 松田陽一. パーキンソン病における難治性の腹部症状に対する末梢神経ブロックおよびトリガーポイント注射の単回効果. 日本ペインクリニック学会第54回大会 2020.

⑥ 姉川美保, 植松弘進, 井内貴子, 博多紗綾, 高橋亜矢子, 溝淵敦子, 松岡由里子, 長田多賀子, 松田陽一. 伏在神経パルス高周波法により関節痛と滑膜炎が改善した変形性膝関節症の1例. 日本ペインクリニック学会第54回大会 2020.

⑦ 松田陽一. これからの脊髄電気刺激療法 脊髄刺激療法の現在と未来 我々は何をすべきか. 日本ペインクリニック学会第54回大会 2020.

⑧ 長田多賀子, 博多紗綾, 高橋亜矢子, 植松弘進, 松田陽一, 側腹部痛を契機に判明した傍神経節腫の一例. 日本ペインクリニック学会第1回関西支部学術集会 2020.

⑨ 井内貴子, 植松弘進, 松田陽一, 藤野裕士. 難治性の帯状疱疹後神経痛に対して超音波ガイド下肋間上腕神経ブロックが著効した

症例. 日本ペインクリニック学会第1回関西支部学術集会 2020.

⑩ 溝淵敦子, 高橋亜矢子, 松岡由里子, 大迫正一, 植松弘進, 井内貴子, 松田陽一. 更年期片頭痛患者の薬物乱用性頭痛合併に対する治療経験. 日本ペインクリニック学会第1回関西支部学術集会 2020.

⑪ 溝淵敦子, 高橋亜矢子, 松岡由里子, 松田陽一. 若年者の転移性脳腫瘍に伴う難治性頭痛に対する治療経験. 第25回日本緩和医療学会学術大会 2020.

⑫ 博多紗綾, 和田民樹, 鐘本英輝, 許田志津子, 岡本友紀, 林みずほ, 原伸輔, 井内貴子, 松田陽一. 若年患者の強いがん疼痛に対して病期と機序に応じた適切な疼痛コントロールを行った一例. 第25回日本緩和医療学会学術大会 2020.

## II. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

### 1.特許取得

なし

### 2.実用新案登録

なし

### 3.その他

なし